



## Race Report

30-31 July 2011 / SUPER GT SERIES Round\_4 SUGO

### チーム総力で悪循環を断ち切った triple a vantage GT2、貴重な8位ポイント獲得!!

【Result】

07.30 Free Practice : 12 th (1'38"974)

07.30 Qualify 1 : 16 th (1'26"172)

07.31 Free Practice : 8 th (1'36"867)

Starting Grid : 18 th

Final : 8 th (3 pt)

Series Ranking (Driver/Team) : 5 th / 6 th



【公式練習・予選】 2011.07.30 (Sta)

### triple a vantage GT2、今季最悪の予選結果に

■公式練習1回目【天候】 雨 【コース】 ウェット 【気温・路温】 開始時: 23℃・25℃ 終了時: 22℃・24℃

■公式予選1回目【天候】 雨 【コース】 ウェット 【気温・路温】 開始時: 24℃・27℃ 終了時: 22℃・23℃

全8戦で行われる2011年のAUTOBACS SUPER GT SERIES、前戦のセパンラウンドから約1カ月のインターバルを挟んだ今回の第4戦スポーツランドSUGOは、シーズンの前半戦を締めくくる大事な折り返しの一戦となる。

仙台市郊外の緑豊かな山間にあるスポーツランドSUGOはアップダウンのきついレイアウトのサーキット。triple a vantage GT2にとっては決して相性の良いサーキットとは言えないものの、昨年のここSUGOでの決勝レースペースは予想以上のハイペースをキープしていた事もあり、今回もその走りには注目が集まった。迎えた初日のフリー走行。この日のスポーツランドSUGOは未明から細かい霧雨が降り続いており午前7時50分にはウェット宣言が出される事に。この時点でコース上に大きな水たまりなどはなかったものの、路面は全面が濡れた状況の中、午前8時25分から公式練習が始まった。



このセッションでは各陣営共にウェットタイヤの評価とセットアップに時間を費やすこととなったが、状況はセッション中でも雨量が変化し続けるトリッキーなコンディション。このコンディションに翻弄されコースアウトを喫するマシンも多い中、triple a vantage GT2は予選～決勝に向けたマシンセットを進めていく。結局タイム的には12番手に終わったものの、「刻々と路面状況が変わっていく中では悪くないフリー走行だった(吉本大樹)」と、マシンにはますますの手応えを感じつつ続く公式予選を迎える事となった。

そして迎えた公式予選。12時25分にスタートした公式予選1回目はウェット宣言こそ出されているもののライン上はほぼドライという状態でセッションがスタート。多くのマシンがドライタイヤで走行を開始した。triple a vantage GT2はまず吉本大樹がハード側のタイヤを履いてコースイン。ところが気温が事前に想定していたものよりもかなり低く、タイヤが中々温まらずタイムが伸びない。ここで吉本は一旦ピットへと戻り星野選手と交代するも、今度はこのタイミングで雨が降り始め星野選手もタイムを出す事が出来ず。この流れの悪さからかチームには徐々に焦りの色が見え始め、ここで星野選手をピットに呼び戻す事を選択する。その後ソフト側のタイヤを履いてコースに戻った吉本大樹。しかしこのアタックも馬の背コーナーでコースアウトしたマシンがいた為、この区間でイエローフラッグが振られる事に。イエロー区間でのタイムアップは禁止されている為、結果タイムを更新する事は叶わず、triple a vantage GT2はまともなアタックラップを走る事無く最終的に16番手のタイムでスーパーラップ(SL)進出を逃す事になってしまった。さらにチームが認識していた予選通過基準タイムが誤っていた為、基準タイムをクリアしたのものとしてピットインさせた星野選手のタイムが基準タイムに達していなかった事が判明。これによりtriple a vantage GT2はまさかの「予選落ち」というリザルトに。翌日の決勝には当日朝のフリー走行でのタイムを参考にしたうえで出走が認められたものの、完全に流れを失った中で今シーズン最悪の予選となってしまった。

11' SUPER GT SERIES Round\_4 / SUGO

2011.07.30 (Sta) Free Practice &amp; Qualify

Text : [www.hiroki-yoshimoto.com](http://www.hiroki-yoshimoto.com)

PERSONAL SPONSORS

TWS

Corniche

S&amp;I

VAPSn XPEL  
Car Protection Specialist

osaka hall

TAKAI  
CORPORATION INC.

esprit Car Beauty Factory

金剛防災

PARTNERS

PL0T2

Arai

SIDEWINDERS

HY SPEED

HY Management Co., Ltd.

info@hy-management.com

www.hiroki-yoshimoto.com



## Race Report

30-31 July 2011 / SUPER GT SERIES Round\_4 SUGO

【決勝】 2011.07.31 (Sun)

### triple a vantage GT2、 粘りの追いで貴重な8位ポイント獲得

■フリー走行【天候】 雨【コース】 ウェット【気温】 21℃【路温】 22℃  
■決勝【天候】 曇【コース】 ドライ【気温】 21℃【路温】 22℃

朝のフリー走行はウェットコンディションでの走行となった日曜のスポーツランドSUGO。前日の予選では今季最悪の展開でまさかの18番手スタートに沈んだtriple a vantage GT2は、決勝での巻き返しを狙いスターティンググリッドに向かう事に。そしてどんよりとした曇り空の下、午後2時にドライコンディションでフォーメーションラップがスタートした決勝。

ところがその決勝スタート直前のウォームアップ走行で、レース序盤でリタイヤに終わった前戦セパンでのトラブルと似た症状が出始めたtriple a vantage GT2。エンジンもECUも交換してのぞんでいたにも関わらず、またしても襲った突然のトラブルでスタート前から窮地に立たされる事になってしまう。それでもチームメカニックはこの状況に迅速に対応。吸い上げたデータから原因がエンジン片側のバンクにありそうな事を突き止め、スタート時刻が刻一刻と近づくグリッド上で必死の修復作業を進めていく。するとこの作業が実を結び、triple a vantage GT2はフォーメーションラップを順調に走り切り、この時点でスタートの星野選手からトラブルの報告も入らず。スタート前から崖っぷちに立たされたものの、チームの総力でこのピンチを乗り切ってみせ、これがここまでの悪い流れを断ち切った。

スタートを担当した星野選手はオープニングラップで数台をパス。次の周には少しポジションを下げたものの、その後は落ち着いてペースを取り戻し前を行くマシンを一台ずつ確実に攻略していく。すると25周目のドライバー交代までにはライバルの早めのルーティーンもあったが10番手にまでポジションアップ、ペースに勝ってもオーバーテイクが難しいとされるSUGOながら素晴らしい追い上げを見せ、レース後半の勝負所を吉本大樹へと託していく。そのステアリングを受け取った吉本もここから更なる追い上げを見せる。ピットストップを終え16番手でコースへと戻ると、ペースの遅いマシンに再三引掛かりながらも徐々にポジションアップ。抜きどころの少ないSUGOのレイアウトに苦しめられながらも、交代から17周程した42周目にはポイント獲得圏内の10番手にまでそのポジションを上げてくる。さらにその後も吉本は追い上げの手を緩めず、決してコースとの相性が良いとは言えないマシンを巧みに操り46周目には9番手に浮上。そしてレースも終盤に入った49周目には8番手にまでポジションを上げ、最後はそのままチェッカーフラッグを駆け抜けた。

スタート前には2戦連続でのノーポイントを覚悟しながらも、最終的にはメカニックの見事な作業とドライバーの頑張りでシーズンを左右する貴重なポイントを獲得したtriple a vantage GT2。これでシリーズ前半戦を終えた時点でのドライバーズランキングは5位（チームランキング6位）。タイトル争いに向けてはまだまだ可能性を残す位置で前半戦を折り返し、次戦チームの地元とも言える真夏の鈴鹿サーキットでの戦いに弾みをつけスポーツランドSUGOを後にした。

11' SUPER GT SERIES Round 3 / Malaysia  
2011.06.19 (Sun) Final  
Text : [www.hiroki-yoshimoto.com](http://www.hiroki-yoshimoto.com)

【Aspeed Official Site】 <http://www.aspeed.co.jp/>  
【SUPER GT SERIES Official Site】 <http://www.supergt.net/jp/>  
【吉本大樹 Official Site】 <http://www.hiroki-yoshimoto.com/>

【吉本大樹コメント】

勝ちにいっつもりでSUGO入りしたので正直残念でした。予選では歯車が合わずまさかの展開が続きスーパーラップに残れず、狭いSUGOで厳しい展開に持ち込んでしまいました。そして決勝直前には前戦のリタイヤ原因と同じと思われるトラブルが発生して万事休す。原因が全く分からない状況だったので正直諦めかけていました。でも考えられるパーツを可能な限り全てメカニックが変更してくれたおかげで奇跡的にスタートさせることが出来ました。改めて最後まで諦めてはいけなかったと思われました。レース内容的には狭いSUGOで2人ともポジションを上げていく展開でしたが、タイヤへの負担やライバル車との悪い意味での差が見えたレースでもありました。その発見があっただけでも最後まで走る事ができて利益のあったレースでした。グリッドでマシンを修復してくれたメカニックに感謝です。

このトラブルの原因はまだ不明です。「多分ここ」ではなく「確実にここ」というトラブル原因を解明させなければ次からも同じようなトラブルに見舞われる可能性があるのが怖いので。チームはすぐにAMR（アストンマーチンレーシング）と解明に向けて話をしてくれていると思います。

シーズンを考えたうえで、今回の小さいポイント獲得数は痛手ですが、次の鈴鹿でしっかりと、そしてガッツリ頂きます。第4戦SUGOも応援ありがとうございました！



### PERSONAL SPONSORS

TWS

Corniche

S&I

VAPSn XPEL  
Car Protection Specialist

osaka hall

TAKAI  
CORPORATION INC.

esprit Car Beauty Factory

金剛防災

### PARTNERS

PL0T2

Arai

SIDEWINDERS

HY SPEED

HY Management Co., Ltd.  
info@hy-management.com  
www.hiroki-yoshimoto.com